



払った金は返ってこない？

3月議会・松原のりかず質問（要旨） 負の遺産メディコス瑕疵担保問題

無所属クラブと市長との懇談会後に細江氏は「メディコス屋根下地鋼材の錆を落として、直ちに塗り直す様に言う」と記者発表。しかし、補修されないまま時間が経過。今度は「塗れない構造です」と業者は言って来た。最初の「強度に影響ないから塗り直ししない」の言い訳はどう聞けばよいのか？ 「塗りたくても塗れない構造なので」と、まず謝罪すべきではないのか？ 「補修できない設計」は「設計ミス」と言うのでは？

新幹線の台車は実物を検査して、危険を確認した。戸田建設は自分の試験場で別の鋼材を試験して、メディコスは「安全」と宣言出来るのか。30回の漏水等。珍しい「夏型結露」。6ヶ月で狂う防火シャッターなどの「実績」を措いて。

以下、1点 市民参画部長に伺います。

- 1 現時点で合意を見られない事案は「協議」で決定する事と(業者との合意文書)あるが、3年間もの間に不具合が連続しながら、補修し完成品と出来ない業者の技術力と誠意には疑問が残ります。

東部クリーンセンターを教訓として、証拠を収集し裁判の準備をされる時期、毅然とした態度を示す時期と考えますが。見解を伺います。

市民参画部長 答弁(要旨)

2階天井からの漏水等の不具合の解消に向けましては、設計者・施工者に対し、一刻も早い解決を求め、徹底した再発防止を強く求めてきたところであります。

今後の対応について、設計者・施工者と協議を重ね、今般、瑕疵担保期間満了の前に三者間において合意を図り、文書を取り交わしたところであります。合意においては、瑕疵担保期間内外の不具合への対応方について定め、設計者・施工者に図らせるとともに、今後、漏水等の不具合が発生した場合は、合意に基づき両者に対し確実な対応を求めてまいります。錆への対応については、三者で別に協議することとしております。両者の報告内容について、外部有識者の助言を得ながら検討会議(庁内)において検討していく予定であり、この結果を踏まえ、設計者・施工者に問題解決に向け対応を求めてまいります。様々な事態を想定しておくことは、重要なことであり、備えるべきことは備え、今後も、設計者・施工者には厳しく毅然とした姿勢で臨むことは勿論のこと、冷静に対応してまいります。 **(静々と裁判の準備をされるのが良策では。松原のりかず)**

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖の橋町1-21 でんわ 253-2500

特別委員会の設置必要では メディコス雨漏り問題

5月3日にメディアコスモスの雨漏りのFAX(着信21時12分)が届いています。1F南側のコンビニ店舗内において雨水による漏水を確認したとの内容です。前日の豪雨の後です。[日時]3日午前8時30分頃に発見。[場所]2階並木テラスからつながる鉄骨柱をつたって、1階床面に落ちた雨水を確認。そして[対応等]「業者に対し、早急な漏水の原因究明、その対策を指示」と記されています。毎月、雨漏りしている？

実は3日に松原のりかずは、平和憲法を守る会の代表と「市長選挙の経過」と「細江市政の負の遺産」等について意見交換をしていました。その時、代表から「最近、雨漏りはありませんか」と聞かれたばかりでした。「強い雨の、しばらくすると、FAXが来ます」とお答えした事でした。

5月議会を前に、無所属クラブは共産党市議団とともに「メディコス雨漏り対策特別委員会」(仮称)の設置を市議会各派幹事長会議の場で提案しました。しかし、全会一致が得られぬまま設置は確認出来ませんでした。不完全な建築物に約24億円の最終払いを決定した「細江前市政の負の遺産」をまさに「早急」に究明しなければ、瑕疵担保期間4年が過ぎて、期限切られてしまいます。平成29年度の文教委員会(委員長公明党)では業者へ参考人として委員会に出席実現が出来ていません。4年過ぎ、7千万円(松原のりかず質問)もの防水予算を税金で新たに支出する事は市民から許されません。



松原のりかず
☎058-253-2500